読書でビジネス力をアップする(第29回)

支える人材(参謀)こそがリーダーをつくる

2017.10.05



リーダーに強さはいらない
三城雄児 著
あさ出版

リーダーシップの本です。リーダーに必要なものは、本人の「強さ」でなく、優秀な2番手の存在であるとし、その発掘と育成、そして彼らと共に強いチームをつくる方法を解説します。

一般に、リーダー論では「リーダーは強くあるべき」とされています。確かに偉大なリーダーたちは、強烈な個性やカリスマ性を備えているのが普通です。彼らを見て「自分にリーダーは無理」と思うかもしれません。でも、本書ではそれは間違いとし、必要なものは「資質」より「参謀」の存在だとします。そして、その考え方などを教えてくれます。

本書の特徴は、何よりリーダーシップの本でありながら、リーダー本人でなく、周囲の人たちにフォーカスしている点です。彼らこそがリーダーをリーダーたらしめるからです。しかし、誰もが初めから有能な参謀に恵まれているわけではありません。適任者を見つけ、育て、彼らの力を引き出すことから始めなければなりません。本書には、その方法が書いてあります。

はじめに、フォロワーの必要性と特徴を紹介し、彼らを集める方法を解説します。次いで、彼らの力を引き出す方法を紹介し、彼らを交えて行うチームづくりで締めくくります。例えば「リーダーとフォロワーは対等。役割が違うだけ」と書いてありますが、これはリーダーが忘れがちな視点です。同時に、リーダーを重荷に感じている人には勇気になりそうです。…
続きを読む